



2013-2014年度 国際ロータリー会長メッセージ

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロン D. バートン

今日のロータリー・クラブの例会風景は、一見して、50年前の例会とは大分様子が違って見えます。また、34,000あるクラブすべてを訪ねれば、さまざまな経歴を持つ人々が、世界のありとあらゆる言語を話し、地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っている姿を目にするでしょう。週末に近所の公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラブと協力して何千キロも離れた学校の衛生設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法で、この世界をより良くするためにロータリアンは活動しています。

今日、ロータリーで目にするものの多くは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。これらの価値観こそが、ロータリアンとして私たちを定義づけるものです。私たちは、これらの価値観に従って生き、地域社会にこれらの価値観を広めようと努力しています。

私たちは、推薦され、その推薦を受諾することを選択してロータリーに入会しました。そして、入会した後も、日々、選択を行っています。それは、ロータリー・クラブの単なる一会員であるか、真のロータリアンとなるか、の選択です。

ロータリアンであるということは、週に1度例会に出席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法で、世界を見ること、そして、その世界における自分の役割を見ることです。地域社会の問題を自分自身の責任として受け止

め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、正しい道を歩むことを意味します。

私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足感は見られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸くのです。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはずですよ。

2013-14年度のロータリーのテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」です。

皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です。

ロン D. バートン
2013-14年度 RI 会長

ロン D. バートン

米国オクラホマ州、ノーマン・ロータリー・クラブ（2013-14 年度）

ロン・バートン RI 会長エレクトは、2007 年に退職し、退職直前はオクラホマ大学財団会長を務めていました。

アメリカ法律家協会の会員で、米国最高裁での弁護が認められています。

自身が設立したノーマン公立学校基金の元会長であり、同じく自身が設立したノーマン・コミュニティ基金では理事を務めました。

米国ボーイスカウトでは評議会副会長を務め、シルバービーバー賞を受賞しました。

1979 年にロータリアンとなり、RI 理事、財団副管理委員会、国際協議会モデレーター、委員会委員長、恒久基金米国アドバイザー、RRFC、RI 会長エイドを歴任しました。

RI 超我の奉仕賞、財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞を受賞しています。

ジェットタ夫人との間には、2 人のお子さんと 3 人のお孫さんがいます。